

特別支援学校(知的障害)と小学校との「交流及び共同学習」

<実践の概要>

学 年	特別支援学校	小学校
	小学部2年生	2年生(通常学級)
交流学習の時間	1回目 10:00~10:40 2回目 9:15~9:55 3回目 11:00 ~ 12:45	
教科・領域等	遊びの指導(音楽) 遊びの指導(体育遊び)	音楽 体育
実施時期	1回目: 7月上旬 2回目: 9月中旬 3回目: 1月中旬	
単元/題材名 1回目:リズム遊び 2回目:体づくり運動 3回目:リレー運動		
主 な 活 動 内 容		
1回目	① 校歌紹介 ② 自己紹介 ③ リズム作り(グループ活動) ④ 発表	
2回目	① 友達とペアになり、かけっこ ② シャガみ歩き ③ ミニハードルのまたぎ超え、跳び越え 等	
3回目	① 体ほぐし ② グループ対抗リレー ・ お玉リレー ・ ボール運びリレー	

<実践の成果と課題>

<成果>

- ・ 継続して実施することで、互いの距離が縮まり、自然な交流や共同学習を行うことができるようになってきた。
- ・ 居住地校学習以外ですれ違った際に、受入校の児童から声を掛けて近寄ってきたり、それを受けた児童が笑顔で手を振ったりするなど、日常での触れ合いの様子が見られた。
- ・ 活動内容について、児童の得意なことを生かせるよう計画したことで、学習を楽しみに、自信をもって意欲的に取り組むことができた。

<課題>

- ・ 感染症の時期などに日程の再調整が必要となることがあった。柔軟に対応できるような態勢と双方の捉えが必要になると思われる。

<これまでの効果的な取組や実践エピソード等>

- ・ 同一教科で複数回実施したことで、児童も見通しをもち、受入校の児童も関わり方や対象児童の実態について理解を深められたように感じられた。また、受入校教員も、対象児童に応じた学習内容や教具を提案してくれるなど、共同して学習を展開することができた。
- ・ 保護者の希望で一部参観を行った。保護者からは、地域の児童との触れ合いの様子に安心し、うれしさを感じた旨の感想をいただいた。
- ・ 3回目は給食も一緒に過ごすことができた。教室で、受入校の児童と食事を共にする貴重な経験を積むことができた。